

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	みんなが自分らしく幸せに生きるまちプロジェクト（保健・福祉）		実施期間	H30年度～H34年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	住民健診などわたしたち住民が自身の健康状態を知る機会があり、また健康についての教室や相談などができる場もある。しかし、住民健診などを受けるだけでは、健康を維持することはできない。そのため、より一層の健康への意識向上と健康づくりのための行動が求められる。また、支援や心のよりどころ（人・居場所）を必要とする人に対して、様々な専門機関や地域を把握されている方と連携して、課題解決へ向けた取り組みを行っているが、SOSを見逃さない体制、身近なつながりづくりや孤独にしない人の輪は、不十分な状況である。加えて、担い手不足や厳しい財政状況を考えると、様々な福祉サービスの維持さえ困難になることが想定される。そのため、すべての住民がお互いを認め合い、支え合える環境づくりが必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもから高齢者まで、いきいきと社会参加できる「みんなが自分らしく幸せに生きるまち」を目指し、住民・事業者・行政の協働によって、高齢者や障害者の自立支援、健康づくりや医療体制の充実、地域福祉の推進等に取り組む。							
	総事業費（千円）	50,778	本年度事業費（千円）	50,778	交付金額（千円）	20,763		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要					
市町村実施事業	がん予防事業	交付対象事業	がん検診実施事業 肺がん:3,229人、胃がん:1,359人、子宮頸がん:1,129人、乳がん:1,113人					
	社会福祉施設整備事業	交付対象事業	岩滝ふれあいセンター管理運営事業 屋根雪止め修繕					
住民協働事業	生活困窮者等支援事業	交付対象事業	生活困窮家庭への学習支援 NPO法人宮津・与謝子育て教育ネットワークへの委託：3人					
	福祉有償運送事業	交付対象事業	低料金で高齢者、障害者の自宅と病院などの間の送迎 与謝野町社協による福祉有償運送事業への補助					
	地域福祉空間整備事業	交付対象事業	福祉施設整備 地域共生型福祉施設整備利子補給金（丹後福祉応援団・よさのうみ福祉会・与謝郡福祉会）					
	障害者相談支援事業	交付対象事業	相談事業委託 支援人数1,961人					
	介護人材育成・確保支援事業	交付対象事業	介護資格取得助成事業 介護福祉士資格取得研修：9人					
住民が取り組む事業	地域医療確保奨学金貸付事業	関連事業	医師、看護師を目指す学生への奨学金 10人に対して奨学金を貸与					
成果指標①	成果指標の目標数値	がん検診精密検査受診率（各種がん検診平均） H29：84.6%⇒H32：90%			成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	平成30年度 81.1%		
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 各種がん検診のうち精密検査受診率が向上しているものもあったが、平均としては平成29年度と比較して減少している。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由) — (時期) —					
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	がん予防事業については、健康づくりのための教室や広報など、健康意識向上のための取組も実施しており、引き続き検診事業を実施し予防に努める。福祉環境の整備については、人材の確保や施設整備への支援などにより、福祉サービス維持の繋がっており、今後も継続していく。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業との連携により介護・医療現場の人材不足解消を推進することにより、与謝野町が抱える福祉分野の諸問題に、町が一体となって解決に向け取り組むことができた。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果	地域密着型の福祉環境の整備などにより、福祉の現場が郊外型の施設等から、利用者の生活環境を変えない居住近辺へと配慮がなされるようになってきた。このような変化の中、住民も福祉の分野での関わりを意識することとなり地域社会全体で福祉の諸問題に取り組む意識の向上に繋がっている。						
	リーディング・モデル成果	特に、地域福祉空間整備事業にて整備される地域共生型福祉施設については、入所介護、訪問介護、障害者勤労支援など、この地域が抱える諸問題を一体的に解決することのできる先進的な取組として期待される。						
	広域的波及成果							
	行財政改革に資する成果	町立の福祉施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。 また、地域共生型福祉施設の整備においては、実績のある民間の福祉法人と協働で整備を行うことから、地域住民ニーズに即したサービスの提供を効率的かつ効果的に行うことができる。						
	その他の成果							

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。